

## 記号表記法

量及び単位 (JIS Z 8202-0~10, 12, 13) ・ 数学記号 (JIS Z 8201)

- 量記号は、一般的にラテン文字またはギリシャ文字の一文字で、すべてイタリック体 (斜体)。

例： $m$  (質量)， $\rho$  (密度)， $p$  (圧力)， $\tau$  (せん断応力)， $E$  (弾性率)

注：MC (含水率)，MOR (曲げ強さ)，MOE (曲げヤング係数)，S.D. (標準偏差) などの略語は量記号として用いない (一般的な量記号はそれぞれ  $u$ ， $\sigma_b$ ， $E_b$ ， $\sigma$ )。

- 量記号の添字 (上付きまたは下付き) は、それが物理量または通し番号を表す記号の場合は斜体。その他の場合はローマン体 (直立体)。

例： $c_p$  (定圧比熱)， $\alpha_V$  (体積膨張率)， $\Theta_i$  ( $i=0, 1, 2, \dots$ )

例： $x_2$ ， $m_A$  (物体Aの質量)， $E_L$  (L方向の弾性率)， $v_{\max}$  (最高速度)

- ベクトル、テンソル、行列は太字 (ボールド) の斜体 (テンソルはサンセリフ)。

例： $\mathbf{A} \cdot \mathbf{B} = \mathbf{C}$  (ベクトル)； $\mathbf{T}$  (テンソル)； $\mathbf{A} = \begin{pmatrix} a_{11} & a_{12} \\ a_{21} & a_{22} \end{pmatrix}$  (行列)

- 無次元パラメータおよび基本定数は斜体。

例： $Re$ ， $Pe$ ， $Fr$ ， $Kn$ ， $k$  (ボルツマン定数)， $R$  (気体定数)

- 単位記号は接頭語 (n,  $\mu$ , m, k, M, G など) を含めて直立体。

例： $N$ ， $GPa$ ， $nm$ ， $\mu s$ ， $J/(kg \cdot K)$ ， $kg/m^3$ ， $rad/s^2$

注： $s$ ， $d$ ， $h$ ， $l$  (または  $L$ ) の代わりに  $sec$ ， $day$ ， $hour$ ， $l$  は使わない。

- 化学記号は直立体。

例： $CO_2$ ， $C_2H_4$ ， $SiCl_4$

- 数値は直立体 (位取りのコンマは用いない)。

例： $2483$ ， $0.123$ ， $4 \times 10^3$

- 数学記号で、数値が一般に定められている定数の記号は原則として直立体。

例： $e$  (自然対数の底)， $i, j$  (虚数単位)， $\pi$  (円周率)

- 数学記号で、演算の記号は原則として直立体、変数の記号は量記号と同様に斜体。

例： $\sin$ ， $\cos$ ， $\tan$ ， $\sinh$ ， $\cosh$ ， $\tanh$ ， $\exp$ ， $\log$ ， $\ln$ ， $\operatorname{erf}$ ， $\operatorname{Re}$ ， $\operatorname{Im}$

例： $\frac{dx}{dt}$ ， $\int f(x) dx$ ， $\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{k^3}$